

沖縄県議会議員

仲田 弘毅

会派 * 沖縄・自民党

令和2年3月特別号

沖縄県議会

〒900-0021 那覇市泉崎1-2-3 6階
電話・098-866-2754 FAX:098-866-2773

詳しくは
会派ホームページへ



代表質問 (令和元年11月)

知事の政治姿勢の中で、県政のあり方や
首里城復元の取り組みを問う。
沖縄振興策では、今後の対応策をどのよ
うに国に要望・要請するか問う

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 沖縄振興策の推進について
- 3 離島・過疎地域の振興について
- 4 農林水産業の振興について
- 5 雇用失業問題について
- 6 教育・文化・スポーツの振興について



一般質問 (令和元年6月)

- 1 知事の基本姿勢について
- 2 県経済と予算・税制について
- 3 道路行政について (与勝地区)
- 4 教育・福祉問題について

一般質問 (令和元年9月)

県政のビジョンを問い、国との信頼関係の構築
を訴える!

- 1 知事の政治姿勢について
- 2 農業・畜産振興について
- 3 県の防災について
- 4 教育問題について



9月・11月定例会を終えて

首里城火災について、首里城は沖縄のシンボルであり、県民の誇りでもある。復元・復興は必ず成し遂げなければなりません。

火災の原因究明や再発防止策を示すことは、県の責務であり、同時に、国の再建計画に県の『基本方針』と『考え』を反映させることも管理責任者としての県の大きな仕事であると提言した。

教育問題では、学校現場における教師の長時間労働や過酷な労働環境が、政府による働き方改革の中で強く指摘されている。

児童生徒に直に接する教師の資質向上や心身の保持、働きやすい教育現場の構築は最も必要である。教育委員会の尚一層の取り組みを期待したい。

また、昨年9月の議会で警鐘を鳴らした豚熱(豚コレラ)問題は、残念ながら地元うるま市で33年ぶりに発生し、沖縄市両方で約1万頭余りの豚が殺処分された。被害も甚大で心を痛めている。

県も畜産業者への注意喚起と空港や港湾等の水際対策を講じたと考えるが、なぜ、海を越えて感染したのか?

今一度、対応・対策を見直し養豚農家の補償と支援にしっかりと取り組まなければならない。

令和2年2月定例議会



■質問 又吉 清義
首里城火災、豚熱の発生、中国での新型コロナウイルスの発生による県内観光への影響等、県は危機的状況に直面している。玉城県政は、万全な対策と対応が出来たか? 又、一刻も早い普天間の危険性除去の為に取り組むべき事が、今では議論が噛み合わない。知事の真意を問う。



■質問 西銘 啓史郎
危機管理体制(首里城火災・豚熱・新型コロナウイルス等)について追及すると同時に、観光立県としての課題解決を質し、実現に向けて提言を行う!



■質問 花城 大輔
首里城火災、豚熱、新型コロナウイルス等々々起る異常事態に対して、県の危機管理はどのようになっているのか? この他にも外部団体の人事問題やMICEの和解金サンゴの採掘許可申請に対する姿勢など行政としての機能を有しているとは思えない。正常に機能するよう指摘。



■質問 大浜 一郎
次期沖振計へ向けた正念場の年。沖縄関係予算はこれでいいのか? 離島振興は次期振計の重要な柱! その取り組みを問う。



■質問 山川 典二
我が国初の沖縄県警国境離島警備隊創設の目的と内容。沖縄県の地震、津波など防災対策。大幅に遅れている消防防災ヘリコプター導入事業。那覇空港第2滑走路の活用策。薬学部設置の可能性などについて質問する。



■質問 中川 京貴
沖縄県の最大の振興策は、教育と人材育成、観光振興である。県内社会資本整備や次期沖振計策定について問う。



■質問 座波 一
首里城火災の責任問題、万国津梁会議業務に関する疑惑問題と職員倫理のあり方を追及し、MICE施設整備事業で派生した和解金問題を追及する。



■質問 仲田 弘毅
沖縄のシンボルである首里城の復元・再建のあり方と予算に関する国との調整をどうするか問う。また国内外に向けて的確な対応策が求められている「新型コロナウイルス」や「豚熱」等の対応策について、医療行政と農林水産行政の姿勢を問いたい。

